

2026 年 10 月 1 日

<報道関係各位>

株式会社ジェーシービー

QRコード・バーコード決済スキーム「Smart Code™」が、 10月1日(木)より、ゼンショーグループの 国内飲食店で取り扱いを開始

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼 執行役員社長：二重 孝好、以下：JCB）は、2026 年 10 月 1 日（木）より、株式会社ゼンショーホールディングス（以下、ゼンショーグループ）が運営する飲食店約 5,290 店（2026 年 8 月末時点）で、「Smart Code」の取り扱いが開始になることをお知らせします。

ゼンショーグループの各店で既にご利用いただける決済手段に加えて、Smart Code に対応しているコード決済サービス「atone」「Wesmo!」「ANA Pay」「EPOS PAY」「ギフトプレモ Plus」「銀行 Pay（OKI Pay、こい Pay、はま Pay、ゆうちょ Pay、YOKA! Pay 等）」「GLN Payment」「JAL Pay」「teppay（※）」「BNPJ Pay」「FamiPay」「Pay どん」「MyJCB Pay」「みきゃんアプリ」「Lu Vit Pay」が、「すき家」や「はま寿司」などのゼンショーグループの飲食店でご利用いただけるようになります。また、今後 Smart Code に対応するコード決済サービスもご利用いただけます。

 **Smart Code**







※銀行 Pay、OKI Pay、こい Pay、はま Pay、ゆうちょ Pay、YOKA! Pay について、2026 年 12 月 20 日をもって Smart Code 契約が終了いたします。

※teppay は 10 月 1 日時点でサービス開始前のため、サービス開始後にご利用可能となります。

※teppay は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

Smart Codeとは

JCBがQRコード・バーコード決済事業者（以下、事業者）と店舗をつなぐ決済情報処理センターの提供や加盟店契約の一本化を行い、事業者や店舗の負荷軽減、また消費者にとって安全・安心な決済を実現する決済スキームです。

Smart Code

事業者側の対応メリット

- 各店舗との契約締結やシステム開発無しに、全 Smart Code 加盟店での QR コード・バーコード決済（以下、コード決済）の取り扱いが可能に

店舗側の取り扱いメリット

- Smart Code に対応する全コード決済サービスの取り扱いが可能に
（対応事業者が増えた場合も、店舗側での端末のシステム改修や煩雑な手続きをせず、新たなコード決済の取り扱いが可能）
- コード決済事業者と店舗間の加盟店契約締結や決済処理、精算を JCB が一本化
- 海外のコード決済を取り扱い開始する際に必要なシステム対応負荷を軽減

Smart Code の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※一部ご利用できない店舗がございます。各店舗の決済手段についてはゼンショーグループ各店舗ホームページをご確認ください。

JCB は、「おもてなしの心」「きめ細かな心づかい」でお客様一人ひとりのご期待に応えていきます。そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思っただけ、お客様にとっての世界にひとつをめざし続けます。

以上